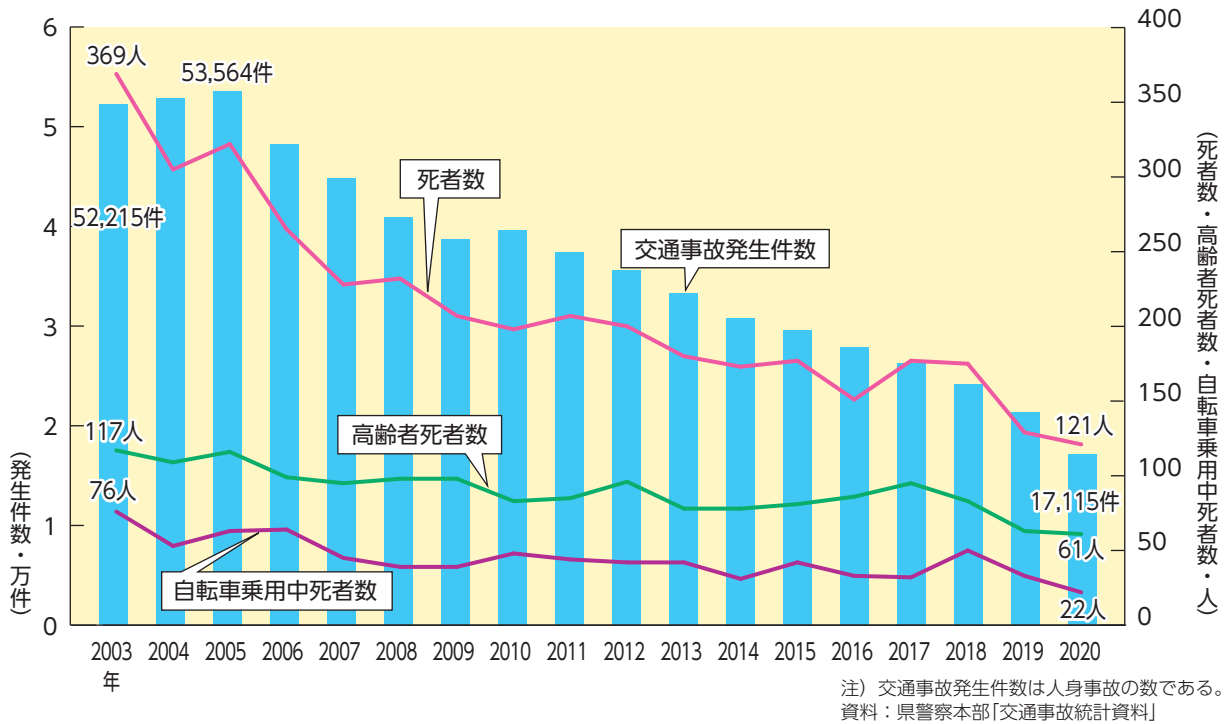


16 交通事故・犯罪

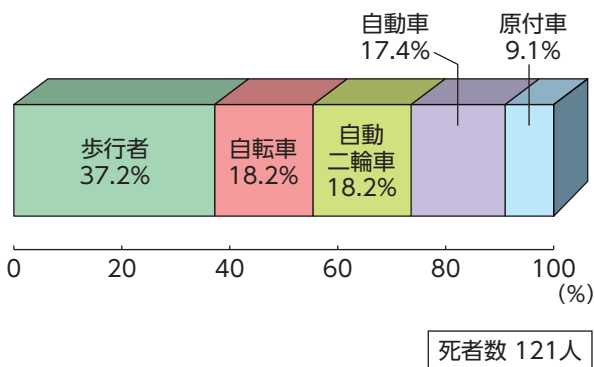
① 交通事故の発生件数と死者数の推移



2020年中の交通事故の発生件数は、前年より4,244件少ない17,115件でした。交通事故による死者数は年々減少傾向にあります。また、「高齢者死者数」は前年より2人減少して61人となっています。

埼玉県の日 交通事故(人身事故)発生件数 47件

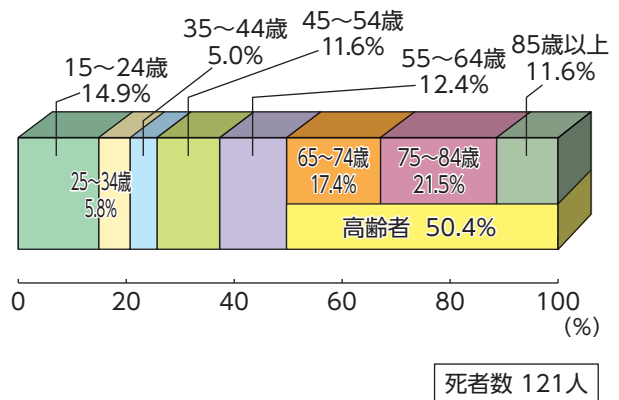
② 状態別の交通事故死者数の割合 (2020年)



資料：県警察本部「交通事故統計資料」

交通事故による状態別死者数は、歩行中が45人で最も多く、次いで自転車と自動二輪車が22人となっています。

③ 年代別の交通事故死者数の割合 (2020年)

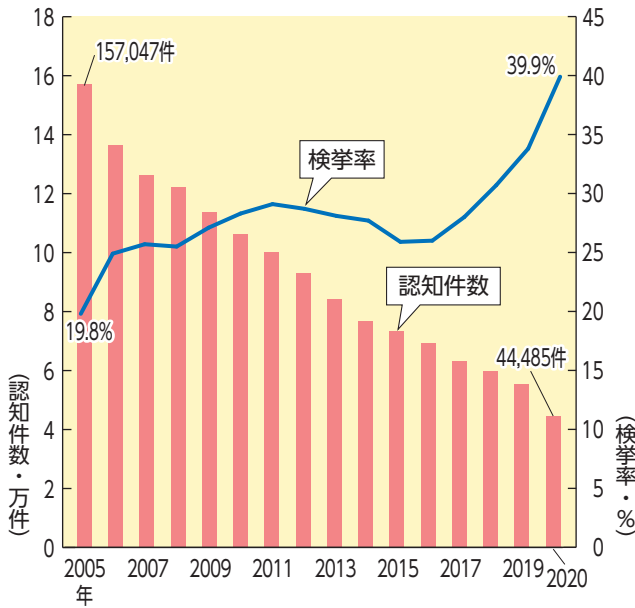


資料：県警察本部「交通事故統計資料」

交通事故による死者数を年齢別に見ると、65歳以上の高齢者が61人と、全体の50.4%を占めています。また、0~14歳の死者数は0人でした。



④ 刑法犯の認知件数と検挙率の推移

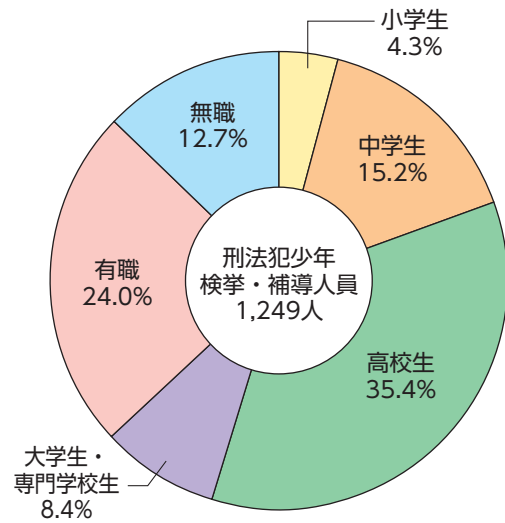


資料：県警察本部HP「犯罪統計」

- 2020年の刑法犯の認知件数は44,485件で、前年より11,012件(19.8%)減少しました。また、検挙件数は17,754件で、認知件数に占める割合(検挙率)は39.9%となり、前年を6.1ポイント上回っています。

🌞 埼玉県の1日 🌙 刑法犯認知件数 122件

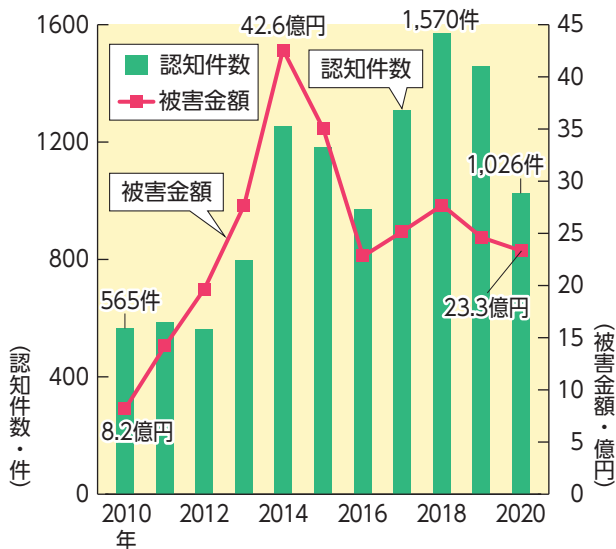
⑤ 刑法犯で検挙・補導された少年の学職別人員の割合 (2020年) (刑法に触れる行為をして補導された触法少年を含む)



注) 1 刑法犯少年とは14歳以上20歳未満の者で、刑法等に規定する罪(交通関係を除く。)を犯した(犯罪に触れる行為をした)少年。
2 触法少年とは犯罪に触れる行為をした14歳未満の少年。
資料：県警察本部HP「少年非行白書」

- 2020年中に検挙・補導された少年の数は1,249人でした。最も多かったのは高校生で全体の35.4%でした。

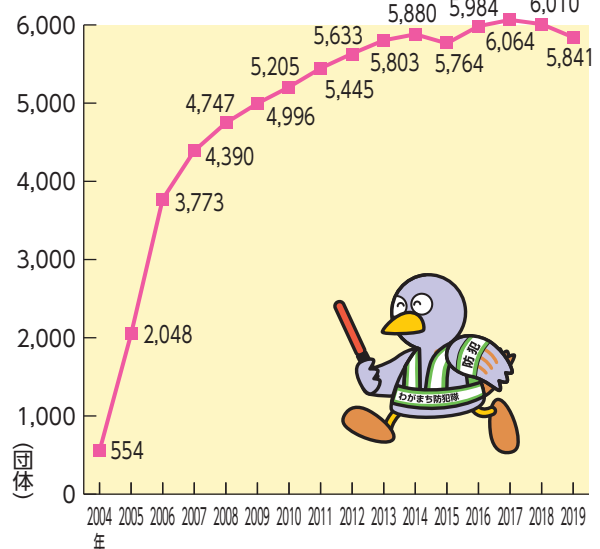
⑥ 特殊詐欺の認知件数・被害金額の推移



資料：県警察本部HP「特殊詐欺」

- 2020年中の特殊詐欺被害は、認知件数1,026件、被害金額は23億3,287万円でした。

⑦ わがまち防犯隊の数の推移 (各年末現在)



注) 5人以上で平均して月1回以上活動している団体の数である。
資料：県防犯・交通安全課HP

- 県内の自主防犯活動団体(愛称:わがまち防犯隊)の数は、5,841団体(2019年末現在)で日本一です。わがまち防犯隊では、地域で自主的に防犯パトロールや子供の見守り活動などの防犯活動を行っています。